

共同リリース

2024年7月9日
全日本空輸株式会社
中部国際空港株式会社

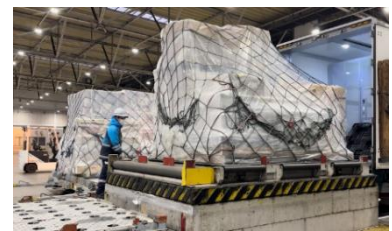
ANAと中部国際空港(株)が 中部国際空港における資源循環型スキームを 愛知県のプロジェクトチームと共に構築

全日本空輸株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:井上 慎一、以下「ANA」)と、中部国際空港株式会社(本社:愛知県常滑市、代表取締役社長:犬塚 力、以下「セントレア」)は、使用済みの航空貨物用プラスチックフィルム[※]を回収し、中部国際空港で使用するプラスチック製品に再生することで、プラスチックを廃棄しない空港内資源循環型スキームを共同で構築しました。スキーム確立にあたり、愛知県が立ち上げた「[あいちサーキュラーエコノミー推進プロジェクトチーム](#)」メンバーの大和エネルギー株式会社、三陽化学株式会社、愛知プラスチック工業株式会社と協働を行っています。この取り組みは中部国際空港での脱プラスチック・脱炭素化に寄与するものであり、航空会社、空港会社、自治体とが一体となって、資源の回収から再利用へ繋げるはじめての取り組みとなります。これにより年間約 20t のプラスチックごみが廃棄されることなく、その一部が空港内で循環することになります。こうした取り組みはサーキュラーエコノミーのみならず脱炭素化にも寄与するものであることから、ANAとセントレアは、参加する[セントレアエコエアポート推進協議会](#)においても他の事業者にも展開し取組を広げてまいります。

※プラスチックフィルム:貨物を輸送する際に型崩れや荷崩れを防ぐためのフィルム

■スキームの概要

1. ANA は貨物を梱包したプラスチックフィルムの付着物を除去し回収
2. 大和エネルギー(株)は空港にて ANA から回収・三陽化学(株)へ搬入
3. 三陽化学(株)は圧縮されたプラスチックフィルムを回収し、ペレットに再生
4. 愛知プラスチック(株)はゴミ袋へ再生化
5. セントレアはゴミ袋を購入。ターミナルビル内のゴミ箱へ設置。



■空港内循環イメージ



ANA とセントレアは、地域の皆様とともに中部国際空港の脱炭素化に向けた取り組みを推進してまいります。

以上



報道機関からのお問い合わせ先
 全日本空輸株式会社 広報部 03-6735-1111
 中部国際空港株式会社 広報グループ 0569-38-7775